

## (二) 天上川水系河川整備計画 (素案)

### 環境に関する資料

令和 7 年 1 月

## 目 次

1. 調査内容 .....	1
1.1 現地調査 .....	1
2. 植生 .....	6
3. 動物 .....	7
3.1 鳥類 .....	7
3.2 魚類 .....	11
3.3 底生動物 .....	12
4. 河川環境と動植物との関連性 .....	15

## 1. 調査内容

### 1.1 現地調査

#### 1.1.1 調査項目、調査時期及び実施日、調査回数

現地調査の調査項目、調査時期及び実施日、調査回数を表 1.1.1 に示す。

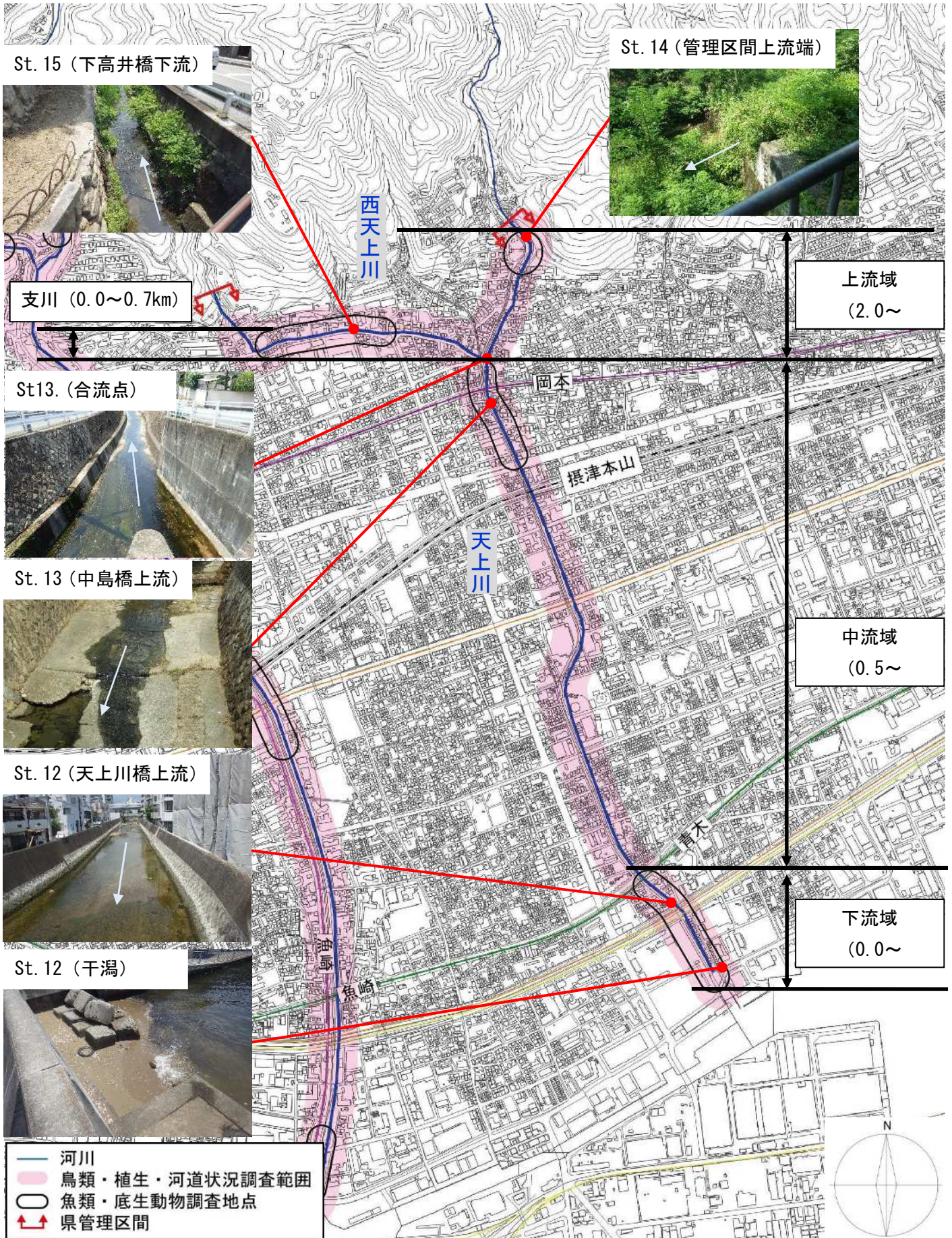
表 1.1.1 調査項目、調査時期及び実施日、調査回数

調査項目	調査時期及び実施日	回数
河道状況	秋季：平成 29 年 10 月 2、3 日	計 1 回
植生	秋季：平成 29 年 10 月 2、3 日	計 1 回
鳥類	秋季：平成 29 年 9 月 21、22 日 冬季：平成 29 年 12 月 25、26 日	計 2 回
魚類	夏季：平成 29 年 8 月 18、21、22 日	計 1 回
底生動物	夏季：平成 29 年 8 月 18、21、22 日	計 1 回

### 1.1.2 調査範囲及び調査地区

調査範囲及び調査地区は図 1.1.1 に示すとおりである。河道状況・鳥類及び植生については河口から管理区間上流端までの堤外地を調査範囲とした。魚類・底生動物については天上川の上・中・下流の 3 地区(st. 12~14)と支川である西天上川の 1 地区(st. 15)で実施し、計 4 地区とした。







### 1.1.3 選定基準

#### (1) 重要種

重要種は表 1.1.2 に示す基準に従って選定した。

表 1.1.2 重要種の選定基準

出典	出典略称	略称	名称
文化財保護法(法律第214号, 1950)等により定められる天然記念物	文化財	特天	国指定特別天然記念物
		国天	国指定天然記念物
		県天	県指定天然記念物
		他天	市町村指定天然記念物
絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (法律第75号, 1993)	種の保存	国内	国内希少野生動植物種
		国際	国際希少野生動植物種
		緊急	緊急指定種
環境省レッドリスト2020の公表について(環境省, 2020) 環境省版海洋生物レッドリストの公表について(環境省, 2017)	環境省 RL	EX	絶滅
		EW	野生絶滅
		CR	絶滅危惧ⅠA類
		EN	絶滅危惧ⅠB類
		VU	絶滅危惧Ⅱ類
		NT	準絶滅危惧
		DD	情報不足
		LP	絶滅のおそれのある地域個体群
		【昆虫類】 兵庫県の貴重な自然 兵庫県版レッドリスト2022(昆虫類)(兵庫県, 2022) 【鳥類】 兵庫県の貴重な自然 兵庫県版レッドリスト2013(鳥類)(兵庫県, 2013) 【貝類・その他無脊椎動物】 兵庫県の貴重な自然 兵庫県版レッドリスト2014(貝類・その他無脊椎動物) (兵庫県, 2014) 【植物・植物群落】 兵庫県の貴重な自然 兵庫県版レッドリスト2020(植物・植物群落)(兵庫県, 2020) 【魚類】 兵庫県版レッドリスト2017(哺乳類・爬虫類・両生類・魚類・クモ類)(兵庫県, 2017)	兵庫県 RDB
A	Aランク		
B	Bランク		
C	Cランク		
要注	要注目種		
地域	地域限定貴重種		
絶滅	絶滅		
A	Aランク		
B	Bランク		
C	Cランク		
LE	地域絶滅危惧種(藻類)		
要注	要注目種(鳥類・群落は要注目)		
地域	地域限定貴重種(貝類・その他無脊椎動物)		
要調	要調査種(鳥類は要調査)		
神戸の希少な野生動植物 神戸版レッドデータ2020 (神戸市, 2020)	神戸市 RL	今	今見られない
		A	Aランク
		B	Bランク
		C	Cランク
		要調	要調査
		(繁殖)	繁殖個体群(神戸市域で繁殖する個体群:鳥類)
		(越冬)	越冬個体群(越冬地として神戸市域を利用する個体群:鳥類)
		(通過)	通過個体群(渡りのため神戸市域を通過する個体群:鳥類)
		改訂・近畿地方の保護上重要な植物—レッドデータブック近畿2001— (平岡環境研究所, 2001)	近畿 RDB
A	絶滅危惧種A		
B	絶滅危惧種B		
C	絶滅危惧種C		
準	準絶滅危惧種		
R1	ランク1(危機的絶滅危惧種)		
R2	ランク2(絶滅危惧種)		
R3	ランク3(準絶滅危惧種)		
要注	ランク4(要注目種)		
(繁殖)	繁殖個体群		
(越冬)	越冬個体群		
(通過)	通過個体群		

## (2) 外来種

外来種は表 1.1.3 に示す基準に従って選定した。

表 1.1.3 外来種の選定基準

出典	出典略称	略称	名称
特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律 (平成16年、法律第78号)	外来 生物法	特定	特定外来生物
我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト (生態系被害防止外来種リスト)(2024、環境省)	生態系 被害	定着	定着を予防する外来種(定着予防外来種)
		・(侵入-外)	侵入予防外来種、国外由来
		・(侵入-内)	侵入予防外来種、国内由来
		・(その他-外)	その他の定着予防外来種、国外由来
		総合	総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)
		・(緊急-外)	緊急対策外来種、国外由来
		・(緊急-内)	緊急対策外来種、国内由来
		・(重点-外)	重点対策外来種、国外由来
		・(重点-内)	重点対策外来種、国内由来
		・(その他-外)	その他の総合対策外来種、国外由来
・(その他-内)	その他の総合対策外来種、国内由来		
管理-外	適切な管理が必要な産業上重要な外来種(産業管理外来種)、外来由来		
兵庫県の生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物リスト(ブラックリスト) (兵庫県、2010、2024改訂版)	兵庫県 BL	Z	警戒種
		Y	注意種
		○	定着
		△	定着の怖れが高いもの
		外来	外来生物種
神戸の希少な野生動物植物 神戸版レッドデータ2020 神戸版ブラックリスト2020(神戸市、2020)	神戸市 BL	侵入	侵入警戒種
		緑化	緑化・植栽種

## 2. 植生

現地調査は平成 29 年 10 月に実施しており、オオイヌタデーオオクサキビ群落、メヒシバ群落、イタドリ群落、ツルヨシ群集、タラノキークサイチゴ群集、自然裸地に加え、外来植物群落のオオオナモミーコアカザ群集、セイタカアワダチソウ群落、ニワウルシ群落、ハリエンジュ群落の計 10 種類の群落等が確認された。なお、重要種、特定外来生物は確認されなかった。

下流域は、河道内に植生はみられなかった。

中流域は、河床は大部分がコンクリートや練石張りとなっているが、僅かに形成される寄州にオオイヌタデーオオクサキビ群落がみられた。

上流域は、楔橋上流では流水はほとんど見られず、セイタカアワダチソウ群落、オオオナモミーコアカザ群落などの草本群落のほか、ニワウルシ群落、ハリエンジュ群落、タラノキークサイチゴ群集などの樹林がみられた。また、支川の西天上川では、川幅約 2m 程度と細く、河床は主に練石張りとなっているが、僅かに形成される寄州にオオイヌタデーオオクサキビ群落、イタドリ群落、ツルヨシ群集がみられた。

表 2.1.1 植生群落表

群落名	天上川	西天上川
オオイヌタデーオオクサキビ群落	○	○
オオオナモミーコアカザ群集	○	
メヒシバ群落	○	
イタドリ群落		○
セイタカアワダチソウ群落	○	○
ツルヨシ群集		○
タラノキークサイチゴ群集	○	
ニワウルシ群落	○	
ハリエンジュ群落	○	
自然裸地	○	

※群落名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(国土交通省,2023)」に準拠した。

ただし、ニワウルシについては、準拠資料では植物名はニワウルシ、群落名はシンジュ群落となっているが、混乱を避けるため、便宜上、ニワウルシ群落と記載する。

※緑字は特定外来生物以外の外来植物群落を示す。



### 3. 動物

#### 3.1 鳥類

現地調査は平成 29 年 9 月と 12 月に実施しており、秋季調査では 6 目 10 科 14 種、冬季調査では 7 目 12 科 20 種、合計 7 目 13 科 23 種の鳥類が確認された。重要種はダイサギ、コサギ、オオバン、イソシギ、ウミネコの 5 種、外来種はカワラバト（ドバト）1 種が確認された。なお、特定外来生物は確認されなかった。

感潮区間である下流域では、干潮時には干潟がみられるが、コンクリート三面張りの垂直護岸であり、植生はみられなかった。秋季調査では休息場として利用しているカルガモや、河床で採餌するハクセキレイやイソシギ、コサギ等が確認された。冬季調査では休息しているアオサギやコサギ、ユリカモメのほか、採餌するコガモやヒドリガモ、ホシハジロ等のカモ類やオオバン、カワウ、ダイサギ等の水鳥が多く確認された。

中流域も下流域同様に三面張りであり、河床や壁面にわずかに草本植生が点在するのみであった。秋季調査では河床で採餌するハクセキレイやセグロセキレイ、カワラバト（ドバト）等が確認され、冬季調査では河床や壁面で採餌するハクセキレイやセグロセキレイ等のセキレイ類のほか、ヒヨドリ、メジロ、ハシブトガラス等が確認された。

上流域では、大半が三面張りであるものの、一部に寄州がみられオオイヌタデーオオクサキビ群落が分布し、上流部にニワウルシ群落、ハリエンジュ群落、タラノキ-クサイチゴ群集等の樹林がみられる。秋季調査ではヒヨドリやキジバト、メジロ等が確認され、冬季調査では鳥類は確認されなかった。支川の西天上川でも、全域が三面張りとなっており、一部に寄州がみられオオイヌタデーオオクサキビ群落が分布しているのみである。秋季調査では河床で採餌するキセキレイ、ハクセキレイ、スズメが確認され、冬季調査ではセグロセキレイが確認された。

現地調査による確認種一覧を表 3.1.1 に、重要種の確認状況は表 3.1.2 に示す。

表 3.1.1 鳥類確認種一覧

No.	目名	科名	和名	天上川水系								重要種選定基準					外来種選定基準				
				天上川				西天上川				文化財	種の保存	環境省 RL	兵庫県 RDB	神戸市 RL	近畿 RDB	特定外来	生態系被害	兵庫県 BL	神戸市 BL
				下流域		中流域		上流域		秋季	冬季										
				秋季	冬季	秋季	冬季	秋季	冬季												
1	カモ目	カモ科	ヒドリガモ		21																
2			カルガモ	30	30	12															
3			コガモ		1																
4			ホシハジロ		1																
5	ハト目	ハト科	カワラバト(ドバト)		6	3	1													Z、O	
6			キジバト					1													
7	ペリカン目	ウ科	カワウ	1	1																
8	コウノトリ目	サギ科	アオサギ		1																
9			ダイサギ		1										繁殖B						
10			コサギ	1	1										繁殖B						
11	ツル目	クイナ科	オオバン		5											繁殖3					
12	チドリ目	シギ科	イソシギ	1												繁殖2					
13		カモメ科	ユリカモメ		1																
14		ウミネコ		1												繁殖 要注目種					
15	スズメ目	カラス科	ハシボソガラス	1		3															
16			ハシブトガラス				2	1													
17		ヒヨドリ科	ヒヨドリ				1	1													
18		メジロ科	メジロ				2	3													
19		ムクドリ科	ムクドリ		9																
20		ハタオリドリ科	スズメ	2	1	3	6	4		1											
21		セキレイ科	キセキレイ			1	5			2											
22			ハクセキレイ	2	3	6	8			3											
23			セグロセキレイ	2	1	6	5				3										
合計7目13科23種				8種	16種	7種	8種	5種	0種	3種	1種	0種	0種	0種	1種	2種	3種	0種	0種	1種	0種

※種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(国土交通省, 2023)」に準拠した。

※赤字は重要種、緑字は特定外来生物以外の外来種を示す。

表 3.1.2 (1) 現地調査による重要種の確認状況 (鳥類)


種名	ダイサギ		生物写真・確認状況
分類等	ペリカン目サギ科		
選定基準	天然記念物	—	
	種の保存法	—	
	環境省	—	
	近畿	—	
	兵庫県	—	
神戸市	繁殖B		
生態等	分布	本州では漂鳥。四国、九州では留鳥。南西諸島では冬鳥。	
	生育場所等	水田、湿地、河川、湖沼、池、河口、干潟などの浅い水域で魚類や甲殻類、カエル類、昆虫類を採食し、人やカラスによるかく乱の少ない樹林で集団営巣する。	
確認状況	天上川	<冬季>下流域の 0.3km 付近で、採餌する 1 個体を確認した。	
種名	コサギ		生物写真・確認状況
分類等	ペリカン目サギ科		
選定基準	天然記念物	—	
	種の保存法	—	
	環境省	—	
	近畿	—	
	兵庫県	—	
神戸市	繁殖B		
生態等	分布	ユーラシア、オーストラリア、アフリカの温帯から熱帯にかけて広く分布する。	
	生育場所等	水田、湿地、川、湖沼、干潟などで、魚類や甲殻類、カエルなどを採食する。繁殖期は 4～9 月で、他のサギ類とともに集団繁殖する。	
確認状況	天上川	<秋季>下流域の 0.4km 付近で採餌する 1 個体を確認した。 <冬季>下流域の 0.2km 付近で休息する 1 個体を確認した。	
種名	オオバン		生物写真・確認状況
分類等	ツル目クイナ科		
選定基準	天然記念物	—	
	種の保存法	—	
	環境省	—	
	近畿	繁殖3	
	兵庫県	—	
神戸市	—		
生態等	分布	北海道、本州、九州で繁殖し、本州、四国、九州等で越冬する。兵庫県では冬鳥。	
	生育場所等	湖沼や河川のヨシ原に代表される湿性の草原に営巣する。水生植物の若芽等を主に食べるが、昆虫や小魚を捕食することもある。	
確認状況	天上川	<冬季>下流域の 0.1km 付近で、採餌する 5 個体を確認した。	

※参考資料：レッドデータブック東京，（東京都）

兵庫県版レッドリスト 2013（鳥類），（兵庫県）

近畿地区鳥類レッドデータブック，（京都大学学術出版）

表 3.1.2 (2) 現地調査による重要種の確認状況 (鳥類)

種名	イソシギ		生物写真・確認状況
分類等	チドリ目シギ科		 <p>※出典：山溪カラー名鑑 日本の野鳥 (山と溪谷社)</p> 
選定基準	天然記念物	—	
	種の保存法	—	
	環境省	—	
	近畿	繁殖2	
	兵庫県	C	
神戸市	—		
生態等	分布	北海道では夏鳥、本州北部では夏鳥または留鳥、本州中・南西部、四国、九州では留鳥または旅鳥、沖縄では留鳥または冬鳥。兵庫県では周年見られる。	
	生育場所等	河川敷、河口、湖沼、湿地、水田、海岸などに生息し、水辺で昆虫類やミミズ類、エビ類、カニ類などを採食する。河川敷や池沼の草むらで繁殖する。	
確認状況	天上川	<秋季>下流域の 0.1km 付近で採餌する 1 個体を確認した。	
種名	ウミネコ		生物写真・確認状況
分類等	チドリ目カモメ科		 
選定基準	天然記念物	—	
	種の保存法	—	
	環境省	—	
	近畿	繁殖要注目種	
	兵庫県	—	
神戸市	—		
生態等	分布	北海道、本州、九州及び周辺の島で繁殖する。非繁殖期は本州、四国、九州等に広く生息する。兵庫県では冬鳥。	
	生育場所等	海岸の岩場などの地上で、集団で営巣する。魚、さまざまな死骸、生ゴミなどを採食する。	
確認状況	天上川	<冬季>下流域の河口付近で、休息する 1 個体を確認した。	

※参考資料：兵庫県版レッドリスト 2013 (鳥類)，(兵庫県)  
 近畿地区鳥類レッドデータブック，(京都大学学術出版)

### 3.2 魚類

現地調査は平成 29 年 8 月に実施しており、1 目 7 科 10 種の魚類が確認された。なお、重要種、外来種、特定外来生物は確認されなかった。

下流域の感潮区間では、汽水・海水魚のマハゼ、スズキが多く確認された。

中流域の淡水域では、純淡水魚のカワヨシノボリのみ確認された。

上流域の淡水域では、魚類は確認されず、落差工が多数存在し、水量も少ないことから魚類が生息している可能性は低いと考えられる。

現地調査による魚類確認種一覧を表 3.2.1 に示す。

表 3.2.1 現地調査による確認種一覧（魚類）

No.	目名	科名	和名	生活型	天上川水系					重要種選定基準					外来種選定基準					
					天上川			西天上川		合計	文化財	種の保存	環境省 RL	環境省 海洋RL	兵庫県 RDB	神戸市 RL	特定外来	生態系被害	兵庫県 BL	神戸市 BL
					St.12	St.13	St.14	St.15												
1	スズキ	ボラ	ボラ	汽水	4					4										
2		スズキ	スズキ	汽水	17					17										
3		タイ	クロタイ	汽水	3					3										
4			マダイ	汽水	1					1										
5			シロギス	汽水	1					1										
6			メジナ	汽水	5					5										
7			マハゼ	汽水	41					41										
8			カワヨシノボリ	淡水			5			5										
9			ヒメハゼ	汽水	4					4										
10			アイゴ	汽水	1					1										
1目7科10種					個体数合計	77	5	0	0	82	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種		
					種類数合計	9種	1種	0種	0種	10種										

※種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(国土交通省, 2023)」に準拠した。  
 ※生活型は、淡水・純淡水魚、回遊: 回遊魚、汽水: 汽水・海水魚を示す。



### 3.3 底生動物

現地調査は平成 29 年 8 月に実施しており、28 目 57 科 78 種の底生動物が確認された。重要種はウミナ、カワゴカイ属、カタツムリトビケラの 3 種が確認された。なお、特定外来生物は確認されなかった。

下流域の感潮区間では、砂泥質の干潟等に生息するドロソコエビ属、スピオ科、カワゴカイ属が多く確認され、干潟の砂質に生息するアサリも 6 個体確認された。

中流域の淡水域では、やや汚れた水域にみられるコカゲロウ類、ミズムシが多く確認された。なお、回遊性のモクズガニが確認されており、天上川では中流までの遡上が確認された。

上流域の淡水域では、種数が 38 種と天上川水系では最も多く確認されており、やや汚れた水域にみられるミズムシ、外来種のアメリカツノウズムシ、カワリヌマエビ属が多く確認された。また、きれいな水域に生息するサワガニ、カワゲラ類、ヘビトンボも確認された。支流の西天上川では、単調な環境のため種数も少なく、やや汚れた水域にみられるミズムシ、外来種のアメリカツノウズムシ、カワリヌマエビ属、砂質に生息するヒメトビケラ属、砂礫底に生息するカワニナが多く確認された。

現地調査による底生動物確認種一覧を表 3.3.1 に、重要種の確認状況は表 3.3.2 に示す。

表 3.3.1 現地調査による確認種一覧（底生動物）

No.	門名	綱名	目名	科名	和名	天上川水系					重要種選定基準						外来種選定基準					
						天上川			西天上川		合計	文化財	種の保存	環境省 RL	環境省 海洋RL	兵庫県 RDB	神戸市 RL	特定 外来	生態系 被害	兵庫県 BL	神戸市 BL	
						St.12	St.13	St.14	St.15													
1	刺胞動物	花虫	イソギンチャク	タテジマイソギンチャク	タテジマイソギンチャク	1					1											
2	扁形動物	有棒状体	三岐腸	サンカクアタマウズムシ	アメリカツノウズムシ		1	18	128	147												
3	軟体動物	腹足	新生腹足	ウミミナ	ウミミナ	1				1			NT									
4				カワニナ	カワニナ				30	30												
5				タマキビ	タマキビガイ	1					1											
6				カリバガサガイ	シマメノウフネガイ	1					1										総合(その他-外) Y、O	
7				汎有肺	モノアラガイ	モノアラガイ	モノアラガイ科				1	1										総合(その他-外)
8				二枚貝	イガイ	イガイ	ホトギスガイ	10				10										
9					マルスダレガイ	シジミ	シジミ		1		1	2										総合(その他-外) Z、O 外来
10			マルスダレガイ	アサリ	6				6													
11	環形動物	ゴカイ	サンバゴカイ	ゴカイ	カワゴカイ属	30			30													
12			スピオ	スピオ	スピオ科	56				56												
13			イトゴカイ	イトゴカイ	イトゴカイ属	12				12												
14			フサゴカイ	フサゴカイ	フサゴカイ科	1				1												
15	ミミズ	オヨギミミズ	オヨギミミズ	オヨギミミズ科		2	2		4													
16			イトミミズ	イトミミズ科			15		15													
17			ツリミミズ	フトミミズ	フトミミズ科			3		3												
18	ヒル	吻無蛭	イシビル	イシビル科		2			2													
19	節足動物	クモ	ダニ	ダニ目			2		2													
20			顎脚	フジツボ	フジツボ	タテジマフジツボ	3			3										総合(その他-外)		
21					ヨーロッパフジツボ	48			48										総合(その他-外) Y、O			
22	軟甲	ヨコエビ	ハマトビムシ	ハマトビムシ科		2		1	3													
23			ユンボソコエビ	ユンボソコエビ属	153					153												
24			ドロクダムシ	ドロクダムシ科	1					1												
25			メリタヨコエビ	メリタヨコエビ属	23					23												
26			ワラジムシ	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)			140	123	55	318											
27			コツムシ	イソコツムシ属	11					11												
28			エビ	カワリヌマエビ	カワリヌマエビ属			59	12	71											Y、O	
29				テナガエビ	スジエビ属	9				9												
30				ホンヤドカリ	ユビナガホンヤドカリ	2				2												
31				ワタリガニ	タイワンガザミ	1				1												
32				サワガニ	サワガニ			2		2												
33				モクスガニ	モクスガニ		1			1												
34				ケフサイソガニ	ケフサイソガニ	4				4												
35				タカノケフサイソガニ	タカノケフサイソガニ	8				8												
36			昆虫	カゲロウ	ヒメシロカゲロウ	ヒメシロカゲロウ属		1	2		3											
37	コカゲロウ	ヨシノコカゲロウ					8		8													
38		サホコカゲロウ				31		2	33													
39		シロハラコカゲロウ					2		2													
40		フタバカゲロウ				9			9													
41		Qコカゲロウ				1			1													
42		ウデマカリコカゲロウ				44			44													
43		ヒラタカゲロウ			シロタニガワカゲロウ			8		8												
44	トンボ	トンボ			オオシオカラトンボ			3	1	4												
45		トンボ科			トンボ科	1	1	3	5													
46	カワゲラ	オナシカワゲラ			フサオナシカワゲラ属			7		7												
47					オナシカワゲラ属			10		10												
48	カメムシ	アメンボ	シマアメンボ		1		3	4														
49			アメンボ科	アメンボ科	5			5														
50	トビケラ	ヘビトンボ	ヘビトンボ	ヘビトンボ		1		1														
51			シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ		1		1														
52			カワトビケラ	コタニガワトビケラ属			9		9													
53			ヒメトビケラ	ヒメトビケラ属		2	6	30	38													
54			カクスイトビケラ	ハナセマルツツトビケラ			2		2													
55			ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ		1	1	7	9													
56			カタツムリトビケラ	カタツムリトビケラ		1			1													
57			カクツツトビケラ	カクツツトビケラ属			10	7	17													
58			ヒゲナガトビケラ	クサツツトビケラ属		2			2													
59				センカイトビケラ	センカイトビケラ属		2		2													
60			チョウ	ハエ	ツトガ	ツトガ科			2	2												
61					チョウバエ	チョウバエ属		3		3												
62	ヌカカ	チョウバエ科						1	1													
63	ユスリカ	ユスリカ			ユスリカ	ユスリカ属		2		2												
64					ホソユスリカ	ホソユスリカ属		2		2												
65					ツヤムネユスリカ	ツヤムネユスリカ属			1		1											
66					エリユスリカ	エリユスリカ属			3		3											
67					ハモユスリカ	ハモユスリカ属			1	1	2											
68					ニセエリユスリカ	ニセエリユスリカ属		1			1											
69					ウスギヌヒメユスリカ	ウスギヌヒメユスリカ属		1			1											
70					ヒゲユスリカ	ヒゲユスリカ属		4	6	14	24											
71	ニセテンマクエリユスリカ	ニセテンマクエリユスリカ属				2			2													
72	モンユスリカ	モンユスリカ科			3		3															
73	エリユスリカ	エリユスリカ科			3	1	4															
74	ユスリカ科	ユスリカ科		3		2	5															
75	コウチュウ	ホソカ	ホソカ	ホソカ属			3	3														
76			フユ	アシマダラフユ属		5	1	26	32													
77			コガシラミズムシ	コガシラミズムシ				3	3													
78			ガムシ	シジミガムシ属		6	1	24	31													
79		ナガアシドロムシ	ナガアシドロムシ属				9	9														
80		ツヤドロムシ	ツヤドロムシ属				3	3														
81		ヒラタドロムシ	チビヒゲナガハナノミ			1	8	9														
82		クシヒゲマルヒラタドロムシ	クシヒゲマルヒラタドロムシ			9		9														
5門11綱28目57科78種						個体数合計	390	277	341	366	1374	0種	0種	1種	0種	2種	2種	0種	5種	4種	1種	
						種類数合計	23種	26種	38種	23種	78種											

※種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(国土交通省, 2023)」に準拠した。  
 ※赤字は重要種、緑字は特定外来生物以外の外来種を示す。

表 3.3.2 現地調査による重要種の確認状況（底生動物）

種名	ウミニナ		生物写真・確認環境
分類等	腹足綱新生腹足目ウミニナ科		 
選定基準	天然記念物	—	
	種の保存法	—	
	環境省 RL	NT(準絶滅危惧)	
	環境省 RL 海洋	—	
	兵庫県 RDB	—	
神戸市 RD	A ランク		
生態等	分布	北海道から九州のおもに太平洋岸に分布。	
	生息場所等	河川水の影響する内湾や河口に生息する。ホソウミニナと混生することも多く、その場合は、ウミニナの方が陸側(潮位の高い方)に偏って生息する。	
確認状況	天上川	天上川最下流部の左岸砂州において確認。	
種名	カワゴカイ属		生物写真・確認環境
分類等	ゴカイ綱サシバゴカイ目ゴカイ科		 
選定基準	天然記念物	—	
	種の保存法	—	
	環境省 RL	—	
	環境省 RL 海洋	—	
	兵庫県 RDB	C ランク	
神戸市 RD	—		
生態等	分布	兵庫県では西宮市、加古川市、高砂市、姫路市、たつの市、赤穂市、豊岡市に分布。	
	生息場所等	全国の淡水の流入する河口域や干潟の潮間帯に生息し、砂質から泥質までの底土中にU字型の棲管を作り、その中に棲む。釣りの餌として利用されるほか、シギ・チドリ類などの渡り鳥の餌としても重要。	
確認状況	天上川	天上川最下流部の砂州において多数確認。	
種名	カタツムリビケラ		生物写真・確認環境
分類等	昆虫綱ビケラ目カタツムリビケラ科		 
選定基準	天然記念物	—	
	種の保存法	—	
	環境省 RL	—	
	環境省 RL 海洋	—	
	兵庫県 RDB	C ランク	
神戸市 RD	C ランク		
生態等	分布	本州各地から確認されているが、種レベルの同一性については研究が必要とされている。	
	生息場所等	幼虫の体長約 4mm、山地の細流などにはふつうに生息するが、小型で発見しにくい。	
確認状況	天上川	中島橋下流の砂礫底において確認。	

※参考資料：日本産淡水貝類図鑑②汽水域を含む全国の淡水貝類,(ピーシーズ)兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドリスト 2014(貝類・その他無脊椎動物),(兵庫県)日本産水生昆虫 科・種・属への検索,(東海大学出版会)

#### 4. 河川環境と動植物との関連性

河口から本町橋付近までの下流域は、感潮区間で小規模な干潟がみられ、重要種であるイソシギやウミナ、カワゴカイ属等の鳥類、底生動物が生息している。また、汽水域にはスズキ、マハゼ等の魚類が生息し、重要種であるコサギ、ダイサギ、ウミネコ、オオバン等の鳥類が採餌、休息の場として利用している。両岸はコンクリート護岸が整備され、河道内に植生はみられないが、感潮域の多様な生物が生息・生育・繁殖している重要な環境となっている。

本町橋付近から西天上川合流点までの中流域は、落差工が多く設置されており、河床はコンクリートや練石張りで浅い瀬が連続し、わずかに形成される寄州にオオイヌタデーオオクサキビ群落が生息しているが、水深が非常に浅い単調な環境が連続している。河床ではハクセキレイやセグロセキレイ等の鳥類が採餌し、瀬にはカワヨシノボリ等の魚類、コカゲロウ類、回遊性のモクズガニ、重要種であるカタツムリトビケラ等の底生動物が生息している。

西天上川合流点から源流までの上流域及び西天上川は、中流域同様に落差工が多く設置されており、河床はコンクリートや練石張りで浅い瀬が連続し、寄州にはオオイヌタデーオオクサキビ群落が分布している。源流部には樹林がみられニワウルシ群落、ハリエンジュ群落、タラノキークサイチゴ群集が分布している。寄州の水辺付近ではキセキレイ、ハクセキレイやセグロセキレイ等の鳥類が採餌し、瀬にはカワナ等底生動物が生息している。源流部の瀬にはヘビトンボ、水際に植生のある緩流域にはサワガニ等の底生動物が生息している。